

Q&A

対象

Q 年齢制限はありますか？

A ホワイトニングは十分に形成されたエナメル質が対象です。おおよそ 16 歳以上であれば、上限はありません。

Q 禁忌症は？

A 妊娠中の方・妊娠の可能性が高い方・授乳中の方・無カタラーゼ症の方

Q 妊娠中や授乳中はなぜいけないのですか？

A 直接害があるわけではありませんが、ホワイトニングという日常的でない行為が刺激となり、ホルモンのバランスに影響を及ぼすことを避けるためです。

Q 無カタラーゼ症とは？

A 過酸化水素を分解する酵素である「カタラーゼ」を持っていない症状で、過酸化水素が直接体内に入りますので禁忌症となります。

Q 無カタラーゼ症であるかどうか、どのように確認したらよいですか？

A 問診時に、「消毒液オキシドール（3%の過酸化水素）」の使用を禁止されていないか、を確認してください。

Q 詰め物は白くなりますか？

A 人工物はホワイトニングできません。しかし、表面の汚れは分解してくれます。

Q 矯正治療中の方はホワイトニングできますか？

A 通常のラビアル装置（前面に矯正装置が付いている）の場合はホワイトニングできません。矯正治療後に行ってください。矯正装置を外した直後は、エナメル質の表面が損傷していますので、痛みが出やすい状態です。一定期間を空けて行うことをお勧めします。

- ・舌側から装置を装着（リンガル装置）する矯正
- ・マウスピースを使う矯正

は矯正治療中でもホワイトニング可能です。

Q 神経を取って、黒くなっている歯はホワイトニングできますか？

A 「無髄歯」もホワイトニング可能です。しかし、有髄歯と同じようには白くなりません。方法については、P.14【参考】無髄歯のホワイトニング法」をご参照ください。



インフォームドコンセント

Q 1回で白くなりますか？

A はい。必ず色の変化は確認できます。しかし1回で改善される程度は、歯の状態や着色度合によって個人差があります。

Q なぜ初回は2回以上行なうのですか？

A 1回のホワイトニングではエナメル質の表面の着色を除去するだけです。表面上、白く見えてもその後の食事などですぐに色がつきます（再着色）。複数回のホワイトニングで、エナメル質の奥の着色を除去しますので、より白くなり長持ちします。初めてのホワイトニングの場合は、2回以上のホワイトニングをお勧めください。

Q 初回の場合、1回目と2回目で1週間空けますが、それはなぜですか？

A 厳密に「1週間」空ける必要はありません。ホワイトニング直後は食事のコントロールが必要です。食事のコントロールがたびたび続くとホワイトニング事態に対する拒否反応が出ますので、「約1週間」空けていただくのがいいでしょう。もし、時間がなければ、中1日を空ければ継続して行っていただくことも可能です。

術式

Q 歯肉の保護はどの程度しておけばいいのでしょうか？

A マージン部から約3ミリほど歯肉をカバーしてください。ホワイトニング材は歯肉保護材を通して浸透しませんので、あまり厚くする必要はありません。厚くすることにより、ダムの硬化時に熱が蓄積し、歯肉に「低温やけど」の症状が起こる場合があります。

Q コンポジットレジン（CR）はダムでカバーする必要はありますか？

A 必要はありません。しかし、古いCRは接着に問題があります。2次カリエスの原因になるような隙間ができている可能性があり、そこにホワイトニング材が侵入し、痛みの原因になります。CRのマージン部をダムでカバーしてください。

Q 補綴のある歯牙にホワイトニング材を塗っても大丈夫ですか？

A 大丈夫です。補綴物自体はホワイトニングできませんが、表面の汚れを分解することは可能です。

Q 遮光ボトルは何ml入るのですか？

A 全部で6ml入りますが、あらかじめ一回量の3mlを計って入れておくことをおすすめします。

術前

Q 歯石がひどくついている場合は、先にクリーニングした方がホワイトニングの効果がより高くなりますか？

A 通常、歯石は舌側についていますのでホワイトニングには関係しません。また、多少の歯石であれば、ホワイトニングによって歯石の着色物質も分解するため、もろくなって取り除きやすくなります。唇側にホワイトニング効果に影響するような歯石が付いている場合は、まず、クリーニングを行ってからホワイトニングをしてください。一般的にこのように歯の状態が悪い方はホワイトニング以前に、クリーニングの指導をしてください。

Q 口腔内が乾くことでトラブルはありませんか？また乾かないための策はないのでしょうか？

A 口腔内は唾液が常時出ていますので、口腔内が乾燥することはありません。しかし、唾液を処理するための排唾管は使用しないでください。乾燥の原因になります。唇の乾きには、別売の「TamTam プランブエッセンス」をご利用ください。口唇の乾燥からの保護だけでなく、栄養成分を与えて口唇を豊かにしてくれます。

Q 術前、術後の写真を撮る際の注意点は？また、推奨するカメラはありますか？

A 症例写真を撮る際は、比較対象として「シェードガイド」を必ず並べて写真を撮ってください。カメラは、撮影技術に合わせて選択してください。

術中

Q 誤って薬材を歯肉や顔に付着させてしまいました。どのように対処すればよいですか？

A 薬材が皮膚や粘膜に付着すると、刺激とともに炎症が起こる場合があります。付着箇所は早急に水洗すれば数十分で元に戻ります。施術を続行する場合は水洗に加え、ピヨングダムや水を含ませたガーゼなどで付着箇所への光を遮断してください。

Q 歯面に損傷や磨耗などは見受けられないのに術中痛みを訴えるクライアントがいます。

A スケーリングを行って間もない方や普段から目の粗い研磨剤の入った歯磨剤を使用している方の歯面は目に見えない細かい傷（マイクロクラック）がある場合があります。この傷は歯牙全面にあることが多いので、保護の方法がありません。次回からは、「痛み止め」の処方をお勧めします。

効果

Q 白くならないのですが。

A 下記のケースが考えられます。

①着色の濃い方 ※ほとんどこのケースです。

例えば A4 の濃さの方でしたら術後は A3 位の改善が予想されます（シェードガイド明度順で7段階）。しかしながら A3 ですとまだ白くなったと感じられない方が多いので、クレームが生じたりするケースがあります。術前にシェードの確認を行い、改善度をクライアントに伝えれば避けられるクレームですので、必ず術前にシェードの確認を行ってください。

②寒色系の歯（C,D系統の色）や歯の表面の状態がザラザラの方は効果が出づらい傾向がありますので、改善度を3～5段階位で予想を立てる必要があります。

③術後のシェード確認環境の変化

チェアへの座位、鏡の位置、光の進入角度、などの違いにより、異なった色に見えることがあります。術前のシェードガイドを合わせた上で確認してください。

※ホワイトニングは「絶対」ではなく、改善度は歯牙によりまったく異なります。中には、改善度合いが非常に小さい場合もありますが、驚くほどに改善する場合があります。この点をインフォームドコンセント時に説明してください。

Q 以前に比べて、効果がもの足りないのですが…。

A ハロゲン球の使用時間をご確認ください。

3000分（1人あたり30分の照射を平均として、およそ100人行なった程度）を目安にハロゲンを交換してください。

A 過酸化水素水のボトルを開封してから、かなり経っていませんか。

密閉保管していても完全ではないため、分解してしまっている可能性があります。手指につけてみて、刺激がない場合は廃棄して、新しいものをご購入ください。使用頻度にもよりますが、目安として、2～3ヶ月で交換して常に新しい過酸化水素水を使用して下さい。

術後

Q 術後に歯肉の変色を訴えられたのですが。

A 術後に歯肉の変色を感じる方がいらっしゃいますが、多くの場合は歯が白くなったことで発生するコントラストによるものです。

Q 術後のフッ素処置は行った方がよいのでしょうか？

A 行った方がよいでしょう。但し、その際に使用するフッ素は必ず「中性フッ素」をご使用下さい。ホワイトニング後はエナメル質が酸性に傾いていますので、できるだけ早く中性に戻すためです。

Q ホワイトニング後のクリーニングやスケーリングは、ホワイトニング後何日くらい経ったら行ってもよいですか？

A ホワイトニング後、約24時間経過した後であれば大丈夫です。

その他

Q 初めに2回続けて行ないました。これからはどのくらいのスパンで行なったらよいですか？今の白さを維持していくには？もっと白くしたい場合は？

A 普段の生活状態により「再着色」の度合いが変わります。具体的な期間を言わず、「歯の色が気になったらホワイトニングしてください」と説明してください。着色物を頻繁に取り入れる方は数ヶ月ごとにホワイトニングの必要があります。一般的には6か月に1回のホワイトニングをお勧めします。また、より白くしたい方でも、数か月に1回をお勧めします。これ以上頻度を上げると、エンドポイントが見つからず、逆にクライアントご自身が苦しむ原因となります。

Q クライアントへの価格はいくらにしたらいいのでしょうか？

A ホワイトニングの目的は、「より多くの方をクリニックに誘導する」ということで、ホワイトニングはそのためのツールであり、動機づけです。普段の生活の中で定期的に行っていただきたいので、受け入れやすい価格帯に設定いただく必要があるでしょう。ヘアーサロンの「カット+カラーリング」の価格を目安にしてください。詳細は、P.15「ホワイトニングの料金」をご参照ください。

Q ハロゲン球の使用時間が3000分に満たないのに光が弱くなった気がします？

A 術後ホワイトニングライトの電源を落とす際、ファンが確実に止まっていることを確認して下さい。ファンが止まらないうちに電源を落としたり、電源コードを抜いたりすると、ハロゲン球が早く消耗してしまいます。また本体の故障の原因となりますのでご注意ください。